

2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月13日

上場会社名 KeePer 技研株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 6036 URL https://keepergiken.co.jp
代表者（役職名） 代表取締役社長兼Co-COO（氏名） 賀来 聡介
問合せ先責任者（役職名） 常務取締役兼CFO（氏名） 山下 文子（TEL）0562-45-5777
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家向け）
(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の業績（2023年7月1日～2023年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	10,702	24.9	3,320	10.1	3,324	9.3	2,263	8.4
2023年6月期第2四半期	8,566	17.3	3,016	30.2	3,042	30.6	2,087	29.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2024年6月期第2四半期	82	95	—	—				
2023年6月期第2四半期	76	52	—	—				

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	16,396	12,308	75.1
2023年6月期	15,079	11,151	73.9

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 12,308百万円 2023年6月期 11,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年6月期	—	0.00	—	43.00	43.00	—
2024年6月期	—	0.00	—	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	21,137	24.0	6,602	20.6	6,602	20.7	4,595	16.1	168	44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年6月期2Q	28,280,840株	2023年6月期	28,280,840株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年6月期2Q	989,010株	2023年6月期	1,000,660株
------------	----------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年6月期2Q	27,283,523株	2023年6月期2Q	27,280,318株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において、当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予測数値より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）P5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第2四半期累計期間(2023年7月1日から2023年12月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和や外国人観光客の増加によるインバウンド需要の回復などにより、景気は緩やかな回復基調となりましたが、エネルギー価格の上昇や円安に伴う物価上昇、地政学リスクの長期化など、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような環境の中、当社ではKeePerコーティングの品質を従来以上に維持向上させることが、業績を向上させるだけでなく、将来の発展を目指したKeePerブランドのブランディングを確立するために最も重要であると考えています。

2024年6月期 第2四半期 実績

当第2四半期累計期間(2023年7月1日から2023年12月31日)におきましては、売上高107億2百万円(前年同期比24.9%増加)、営業利益33億32百万円(同10.1%増加)、経常利益33億24百万円(同9.3%増)と増収増益となり、第2四半期累計期間としては過去最高益となりました。

第1四半期(2023年7月1日から2023年9月30日)においては、売上高が大幅増収したにもかかわらず、営業利益の進捗が追いついていない状況でした。

しかし、第2四半期には以下の2つの施策によって大きく挽回し、第2四半期(2023年10月1日から2023年12月31日)では、売上高59億40百万円(前年同期比24.3%増加)、営業利益21億43百万円(同16.1%増加)となり、元通りのペースに戻す事が出来ております。

まず1つ目の施策は『オータムフェア』の実施です。ビッグモーター社が販売する「ダイヤモンドコート(コーティング)」と、当社の「ダイヤモンドキーパー」の名称がかぶっていたことから、多くの方が混乱され、ダイヤモンドキーパーシリーズの施工台数が8、9月において前年を下回る状況が発生しました。そこで過去2年間のLABO全店の約36万人のお客様を対象に『オータムフェア』と銘打ったポジティブな企画を10月から実施し、ビッグモーター社の「ダイヤモンドコート」とKeePerの「ダイヤモンドキーパー」が別物であることを明確にするDMを送付しました。これにより、ダイヤモンドキーパーへの不安が解消され、状況は完全に元に戻りました。

2つ目は、人件費の増加に対する対策です。従業員数は2022年12月時点の847名から2023年12月には1,076名に増加し、これに伴って人件費は7億41百万円増加しました。この増加額のうち、人員増によるものを除いた、ベースアップを含む給与支給額は3億50百万円の増加となりました。そこで人的コストの最も率が高い「純水手洗い洗車」を9月1日より値上げを実施させていただき、値上げ前の7月と8月は費用増となりましたが、9月以降は値上げによる増収効果が働き、継続的に影響を相殺出来ております。

【キーパーLABO運営事業】

キーパーLABO運営事業の売上は58億62百万円（前年同期比21.0%増加）、営業利益は14億3百万円（同2.6%減）となりました。

前述の通り、従業員は229名増加し、うちLABO運営事業で211名増加しました。これは、今期に予定している15店舗の新規店舗に対応するための人員増強と既存店舗の増収に合わせた補充のためのものであり、2024年1月以降には、新規出店が13店舗控えており、今後の売上拡大を支える先行投資という位置づけです。

そのため、第2四半期累計期間における人員増とベースアップにより、キーパーラボ運営事業での人件費は前年比で6億10百万円増加しました。また、「ダイヤモンドキーパー」の一時的な落ち込みにより売上総利益に1億5百万円の押し下げ影響を受けております。

コーティングの施工台数については、EXキーパーは施工台数3,355台（前年比21.2%増）、ダイヤモンドキーパーシリーズは、8～9月の失速により第1四半期としては、前年比15.6%増の12,307台に留まりましたが、10月以降は前述の通りダイヤモンドキーパーへの不安が払拭され、10月～12月の施工台数でみると30.1%増と元に戻り、7月～12月の上期合計では23.1%増まで回復する事が出来ました。

さらに、『オータムフェア』をきっかけに、1年ぶり、2年ぶりにご来店されたお客様がとて多く、「久しぶりに来てみたら、新サービスが増えていて、施工してみた」や「クリスタルキーパーの再施工の時期を過ぎていたが、これを機会に再施工に来た」など、需要の掘り起こしにつながりました。

同じ耐久期間のタイプであるフレッシュキーパーとクリスタルキーパー合算では45,395台（同17.0%増）となりました。各キーパーコーティングのメンテナンス需要も高まりをみせ、前年比21.3%増となりました。

また、9月より大幅な洗車価格改定を行った洗車については、大きな影響もなくお客様にも受け入れられております。LABO全店において、7月～12月までの洗車台数は前年同期比19.5%増加しており、うち価格改定幅が大きいキーパー未施工車は7.7%増でしたが、キーパー施工車は33.3%増となり大幅に増加しました。

その結果、当第2四半期において総来店台数は360,993台（前年同期比17.6%増）、平均単価は16,499円（同3.1%増）となりました。

（キーパーラボ新店開発）

新店オープン

店舗名	所在地	オープン日
府中店	東京都府中市	2023年8月9日
平野店	大阪府大阪市	2023年9月29日
岡山店	岡山県岡山市	2023年11月22日

2024年6月期中にオープン予定

店舗名	所在地	オープン予定月
西春店	愛知県北名古屋市	2024年1月19日
早良店	福岡県福岡市	2024年1月20日
越谷店	埼玉県越谷市	2024年1月24日
宇都宮店（仮称）	栃木県宇都宮市	2024年3月
谷和原インター店（仮称）	茨城県つくばみらい市	2024年3月
奈良大安寺店（仮称）	奈良県奈良市	2024年4月
神戸西店（仮称）	兵庫県神戸市	2024年4月
岸和田店（仮称）	大阪府岸和田市	2024年5月
市川店（仮称）	千葉県市川市	2024年5月
神戸北店（仮称）	兵庫県神戸市	2024年5月
上尾店（仮称）	埼玉県上尾市	2024年6月
堺西店（仮称）	大阪府堺市	2024年6月

2024年6月期中に移転オープン予定

店舗名	所在地	オープン予定月
新松戸東店	千葉県松戸市	2024年6月

2024年6月期中に全面改築オープン予定

店舗名	所在地	オープン予定月	休業予定日数
福岡春日店	福岡県	2024年4月	85日間

(既存店の改装)

上期(7-12月)実施済み

店舗名	所在地	ブース増設	洗って仕上げる 作業場への改修	休業日数
福山店	広島県	3→6台	4台分	6日間
杉並店	東京都	4→6台		なし
福井大和田店	福井県	4→9台	4台分	15日間
鳴海店	愛知県	4→8台	4台分	9日間
大宮店	埼玉県	4→7台	3台分	4日間
浦和美園店	埼玉県	3→5台	3台分	なし
尼崎店	兵庫県	4→6台		12日間
郡山店	福島県	6→10台	3台分	10日間
246玉川店	神奈川県	3→6台		なし
高針店	愛知県	3→5台	4台分	14日間

今後の予定

店舗名	所在地	ブース増設	洗って仕上げる 作業場への改修	休業予定日数
上溝店	神奈川県	3→6台		なし
八王子店	東京都	6→10台		なし
四日市店	三重県	3→5台		なし
市原店	千葉県	3→7台		なし
東郷店	愛知県	4→8台	3台	10日間
足立店	東京都	7→12台		1か月
小牧山店	愛知県	4→6台		なし
交野店	大阪府	4→7台		なし
彦根店	滋賀県	4→8台		14日間
富山店	富山県	5→7台		なし
東浦和店	埼玉県	5→7台		なし
小平店	東京都	4→9台		10日間

【キーパー製品等関連事業】

キーパー製品等関連事業の売上高は48億40百万円（前年同期比30.0%増加）、セグメント利益は19億17百万円（同21.7%増）と大幅な増収増益を達成しました。

（単位：百万円）

売上内訳	FY23/6月 上期 (7-12月)	構成比	FY24/6月 上期 (7-12月)	構成比	前年増減率 (YoY)
アフターマーケット	3,004	80.7%	3,558	73.5%	+ 18.3%
新車マーケット	568	15.3%	1,092	22.6%	+ 92.2%
海外	19	0.5%	31	0.7%	+ 63.8%
車以外のコーティング	130	3.5%	157	3.3%	+ 20.6%
合計	3,723	100.0%	4,840	100.0%	+ 30.0%

キーパープロショップを中心とした「アフターマーケット」では、前年同期比18.3%増加の大幅増となりました。

この好調の要因は、一昨年(2022年)10月から発売された「フレッシュキーパー」が大きく進捗し、32万台の施工台数を達成したことです。

車をキレイにする嗜好品のキーパーに、「雨が洗車になる」「洗車の回数が減る」という洗車を減らす実用品・日用品として「フレッシュキーパー」のラインナップが加わった事で、特に女性を中心とした今までリーチできていなかったユーザーにまで幅広く広まりました。広告方法も、今年7月から12月まで全国ネットで3番組を提供する形で「勝手にキレイ」のCMが流れ、大きな後押しとなりました。このように、キーパープロショップを主体とするアフターマーケットにおいて、「フレッシュキーパー」を中心に多くのキーパーが施工されました。

新車ディーラーを中心とした「新車マーケット」では、前年同期比92.2%増加と大きく飛躍し、製品等関連事業における構成比が前期15.3%から22.6%まで伸びました。これは、2023年3月から純正採用されたホンダの施工台数増が大きく牽引しています。また、同年7月に純正採用された三菱自動車も出足好調であり、両メーカー共にKeePerの高い性能と高い認知度があるため、付帯率が上がりコーティング収益の向上につながっています。

トヨタについては、トヨタモビリティパーツの純正採用から2年が経ち、今期に入っていよいよ施工台数の伸びがはじまりました。しかし、まだまだトヨタ全体の施工台数から見れば小さなものであり、今後はさらに大きく伸びる事が予想されます。スバルは純正採用されてから3年経ちましたが、「レガシィアウトバック」や「レイバック」などの高価格帯の新車が発売された事もあり、ここへきてさらに施工台数を伸ばしております。

海外展開については、香港のプロショップ（11店舗展開）はコロナ明けで大きく実績が回復し、店舗拡大を模索しております。そして、台湾のプロショップ（3店舗）では売上増によりケミカル購入が大きく増加し、韓国やメキシコでも新規にプロショップがオープンしました。車関連のインフルエンサーが来店され、日本で人気のあるKeePerに興味津々でした。SNSで広がり、コーティング予約も入り始めるなど、今後大きく期待が出来るそうです。

車以外のサービスでは、NTTドコモから始まった「スマホキーパー」が他のメーカーにも展開されつつあります。また、「飲料水の自動販売機」向けのコーティング施工が始まり、汚れにくくなり掃除回数が大幅に減少すると好評です。

さらに、スポーツ・ゴルフ用品販売のアルペン社が運営する全国196店舗のゴルフ専門店「ゴルフ5」との共同企画によるゴルフクラブ用クリーナー「ツヤピカ」が大好評で、販売数量が予想を大幅に上回っています。

フジツボ付着防止の船舶用コーティングについては、実際の船舶でのテストが進行中であり、現段階ではマイナス要素は見当たらず、今後のテスト結果に期待が高まっています。2月からは「お風呂コーティング」の説明会や研修会が始まり、3月からはホームセンター向けの出荷も控えており、新体制で動き出した外販営業部での動きが着実に進展しています。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ13億16百万円増加し、163億96百万円となりました。これは主として、現金及び預金が3億7百万円増加、売掛金が9億29百万円増加、有形固定資産が4億57百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ1億59百万円増加し、40億88百万円となりました。これは主として、買掛金が1億87百万円減少、未払法人税等が2億28百万円増加、未払費用が1億16百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ11億56百万円増加し、123億8百万円となりました。これは主として利益剰余金が四半期純利益により22億63百万円増加した一方で、配当により11億73百万円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、2023年8月10日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,573,825	3,880,876
受取手形	185,863	197,450
売掛金	1,356,868	2,286,125
商品	1,163,271	661,419
貯蔵品	85,746	111,428
前払費用	255,878	176,850
その他	54,177	97,017
貸倒引当金	△159	△251
流動資産合計	6,675,471	7,410,918
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,102,480	4,477,048
構築物（純額）	250,830	254,925
機械及び装置（純額）	60,964	52,474
車両運搬具（純額）	33,292	48,988
工具、器具及び備品（純額）	191,094	205,451
土地	2,016,836	2,016,836
建設仮勘定	76,509	134,248
有形固定資産合計	6,732,008	7,189,972
無形固定資産		
ソフトウェア	74,009	78,739
その他	55,240	64,558
無形固定資産合計	129,249	143,298
投資その他の資産		
投資有価証券	20,364	21,021
関係会社株式	1,000	1,000
長期前払費用	43,451	41,789
敷金及び保証金	511,654	529,726
建設協力金	277,799	267,562
保険積立金	11,460	11,460
繰延税金資産	396,797	428,922
その他	280,624	351,146
貸倒引当金	-	△11
投資その他の資産合計	1,543,152	1,652,618
固定資産合計	8,404,410	8,985,889
資産合計	15,079,882	16,396,807

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	455,905	268,861
1年内返済予定の長期借入金	48,000	48,000
未払金	685,592	513,655
未払法人税等	935,772	1,164,349
未払費用	271,150	387,759
賞与引当金	54,859	65,165
契約負債	231,297	277,446
その他	131,440	220,533
流動負債合計	2,814,019	2,945,772
固定負債		
長期借入金	112,000	88,000
退職給付引当金	426,714	463,822
役員退職慰労引当金	270,969	279,203
資産除去債務	300,899	307,776
その他	4,043	4,043
固定負債合計	1,114,626	1,142,845
負債合計	3,928,645	4,088,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,347,557	1,347,557
資本剰余金	1,007,224	1,049,019
利益剰余金	10,983,406	12,073,430
自己株式	△2,189,329	△2,164,499
株主資本合計	11,148,858	12,305,507
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,378	2,681
評価・換算差額等合計	2,378	2,681
純資産合計	11,151,236	12,308,189
負債純資産合計	15,079,882	16,396,807

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年7月1日 至2023年12月31日)
売上高	8,566,513	10,702,438
売上原価	1,538,670	1,943,192
売上総利益	7,027,842	8,759,245
販売費及び一般管理費	4,011,362	5,438,858
営業利益	3,016,479	3,320,387
営業外収益		
受取利息	782	1,101
受取配当金	180	228
為替差益	22,647	-
受取手数料	2,780	3,340
その他	980	1,068
営業外収益合計	27,371	5,738
営業外費用		
支払利息	922	183
為替差損	-	1,506
その他	114	37
営業外費用合計	1,037	1,727
経常利益	3,042,813	3,324,398
特別利益		
固定資産売却益	1,580	1,148
特別利益合計	1,580	1,148
特別損失		
固定資産除売却損	7,235	6,302
特別損失合計	7,235	6,302
税引前四半期純利益	3,037,159	3,319,244
法人税、住民税及び事業税	944,733	1,088,430
法人税等調整額	5,006	△32,257
法人税等合計	949,740	1,056,172
四半期純利益	2,087,418	2,263,071

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	155,434	—	155,434	—	155,434
仙台営業所	371,892	—	371,892	—	371,892
東京営業所	746,659	—	746,659	—	746,659
横浜営業所	348,030	—	348,030	—	348,030
名古屋営業所	812,144	—	812,144	—	812,144
大阪営業所	435,451	—	435,451	—	435,451
広島営業所	356,361	—	356,361	—	356,361
福岡営業所	497,305	—	497,305	—	497,305
東日本	—	2,474,943	2,474,943	—	2,474,943
西日本	—	2,368,288	2,368,288	—	2,368,288
顧客との契約から生 じる収益	3,723,280	4,843,232	8,566,513	—	8,566,513
外部顧客への売上高	3,723,280	4,843,232	8,566,513	—	8,566,513
セグメント間の内部 売上高又は振替高	656,109	—	656,109	△656,109	—
計	4,379,389	4,843,232	9,222,622	△656,109	8,566,513
セグメント利益	1,575,967	1,440,512	3,016,479	—	3,016,479

(注) セグメント間の内部売上高656,109千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するもので
す。

当第2四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	209,842	—	209,842	—	209,842
仙台営業所	512,562	—	512,562	—	512,562
東京営業所	965,716	—	965,716	—	965,716
横浜営業所	468,204	—	468,204	—	468,204
名古屋営業所	1,021,811	—	1,021,811	—	1,021,811
大阪営業所	546,572	—	546,572	—	546,572
広島営業所	485,102	—	485,102	—	485,102
福岡営業所	630,522	—	630,522	—	630,522
東日本	—	2,991,098	2,991,098	—	2,991,098
西日本	—	2,871,005	2,871,005	—	2,871,005
顧客との契約から生 じる収益	4,840,334	5,862,103	10,702,438	—	10,702,438
外部顧客への売上高	4,840,334	5,862,103	10,702,438	—	10,702,438
セグメント間の内部 売上高又は振替高	829,456	—	829,456	△829,456	—
計	5,669,791	5,862,103	11,531,895	△829,456	10,702,438
セグメント利益	1,917,171	1,403,216	3,320,387	—	3,320,387

(注) セグメント間の内部売上高829,456千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。